

# 環流



第185号 令和5年6月30日

<目次>

巻頭言……………P1  
 教育研究所の活動について……………P2  
 調査研究活動事業の研究指定校・団体…P4  
 初任者紹介……………P5  
 教育研究所情報：  
   研究図書について……………P7  
   SSWの活動、13次研究について…P8

## 小樽市教育研究所 所長就任にあたって



小樽市教育研究所 所長 鈴木 健介  
 (小樽市教育委員会教育部長)

今年度、小樽市教育研究所長の任を仰せ付かることになりました。研究所の事業が、本市の児童生徒や教職員にとって実り多きものとなるよう力を尽くしてまいります。

約3年半もの間、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日に感染症法上の分類が5類に移行しました。この間、学校現場で児童生徒の指導をしていただいた教職員の皆さんの御苦労に心より感謝申し上げます。

今後、コロナ禍前の状態に1日も早く戻ることを願っておりますが、その際、必要に応じ、外部講師を大いに活用してほしいと思っています。

私の経験談ですが、市役所の観光部門での業務経験から、令和2年に北陵中学校で、小樽観光について、最近の外国人を含む観光客の動向や、小樽の特産品、今後の小樽観光に必要なことなどの内容で講話をさせていただきました。

また、小中学校の適正配置を担当していた平成28年には、塩谷中学校と統合した長橋中学校で、市立小樽文学館主幹学芸員の亀井志乃氏(現同館館長)を講師に、塩谷地域にゆかりがあり、長橋中学校の前身である小樽市中学校で英語教諭として教鞭をとった詩人「伊藤整」について、デビュー作「雪明かりの路」などの伊藤整作品や、塩谷小学校の校歌(作詞：伊藤整)の紹介などを通じて、講話を聞いてもらう機会を提供させていただきました。

今、少子高齢化の進行やグローバル化、高度情報化の進展、新型コロナウイルス感染症の影響など、日常の在り方が劇的に変化し、複雑で予測困難な社会となっています。こうした時代背景の中で、子ども達には様々な課題に対して、柔軟に対応できる力を育んでいくことも教育に求められており、外部講師の活用は、その一助となると考えています。

### <小樽の文化財を教育資源として更なる活用を！>

### コラム

昨年「旧三井銀行小樽支店」が国指定重要文化財に指定され(指定日：令和4年2月9日)、小樽市の国指定重要文化財(建造物)は「旧日本郵船株式会社小樽支店」と「旧手宮鉄道施設」とを合わせて3件になりました。各学校においては、市内の文化財を総合的な学習の時間や社会科等で活用していただいているところですが、これらの他にも市内には多くの文化財がありますので、子どもたちにとって小樽の歴史や文化が一層身近なものに感じられるよう、「教材『小樽の歴史』」も合わせて更なる創意工夫ある活用を期待します。

なお、現在「旧日本郵船株式会社小樽支店」は保存修理工事のため休館中です。

# 令和5年度 教育研究所の活動について

新年度最初の所報を発刊するにあたり、改めて小樽市教育研究所の活動について概要を紹介させていただきます。教育研究所の業務内容は、「教職員研修に係ること」「教育活動に係ること」「教育相談に係ること」の3つに大きく分けられています。主なものは次のとおりとなっています。

## 1 教育研究の推進

小樽市教育研究所は、研究員6名の協力を得ながら第13次研究2年次目をスタートしました。全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるよう、これまでの研究の成果と課題を基に、研究主題の追究と小樽の児童生徒への効果的な指導の在り方の研究を進めています。

## 新しい研究員を紹介します！ よろしくお願ひします



小樽市立花園小学校 教諭 寺下 剛史

今年度より、小樽市教育研究所研究員として活動させていただくことになりました。昨年度から小樽市での勤務となり、微力ながら故郷への恩返しができるよう努めております。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するため、“トライ&エラーでまたリトライ”を大切に、子どもと一緒に挑戦する日々です。子どもたちが、学びの楽しさを味わうことができるよう研鑽を深めます。よろしくお願ひ致します。



小樽市立松ヶ枝中学校 教諭 八柳 圭介

今年度、松ヶ枝中学校に後志地区から異動してきた八柳 圭介です。異動してきたばかりということもあり、小樽市の教育の成果や課題については把握できていません。しかし、今までの研究の収録や紀要を拝見させていただいたり、他の研究員のご助言をいただいたりしながら、自分自身の研鑽を深め、少しでも小樽市の研究が深められるように尽力していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

## 昨年度に引き続いて委嘱された研究員の皆さん



奥沢小学校 教諭  
太田 淳  
(3年目)



潮見台小学校 教諭  
平口山 立治  
(3年目)



銭函小学校 教諭  
佐藤 充  
(2年目)



西陵中学校 教諭  
佐藤 冴  
(2年目)

## 公開検証授業への参加をお待ちしております

教育研究所では、13次研究を進めるに当たり、ここ数年は所内検証授業を2回、公開検証授業を1回実施しております。本検証授業は各学校の研究に寄与するところが多くありますので是非ご参加ください。

**2 研修講座の開催(予定)**

	期 日	講 座 名	講 師
1	期日未定	環境教育研修講座 『おたるの自然』デジタル版の活用等	市内教員等予定
2	期日未定	第13次教育研究検証授業公開	研究所研究員

**3 調査研究活動事業の推進**

- 今年度は13校・6団体を研究校・団体に指定し、各学校・団体の研究活動の奨励・推進の支援に取り組みます。
- 研修発表会等を実施し、研究校・団体の研究交流の充実と研究内容の周知の拡大を図ります。
- 取組内容や成果と課題等を「研究集録」にまとめ、3月末に発刊する予定です。

**4 社会科副読本 及び 理科教材、歴史教材の活用促進**

- 社会科副読本「わたしたちの小樽」は、次年度新たに発行される令和6・7年度版の改訂作業を行います。
- 理科教材「新版『おたるの自然』」は、昨年度デジタル版を作成しChromebook等での活用が可能になっています。各学校において、一層創意工夫のある効果的な活用が図られることを期待しています。
- 「教材『小樽の歴史』」の効果的な活用に向けて、各学校の取組状況や内容等の情報発信に努めます。

**5 学力調査の推移**

- 標準学力調査を実施し、学力における全市の傾向や特性を客観的に測定・分析し、指導の充実に向けた情報発信を行います。
- 本調査は今年度で8年目を迎え、小3から中2までの学力の推移をみるできるようになったことから、今後、小中連携が一層大切になると思います。

**6 研究図書・研究資料の活用促進**

- 学習指導や生徒指導、学級経営などの図書や資料を貸し出ししています。
- 蔵書や新規購入図書はチラシ等で紹介します。
- 貸し出しは電話やメールでも受け付けています。

**8 教育相談活動の実施**

- 小中学生やその保護者を対象に相談活動(面接・電話・メール)を行い、関係機関と連携を図りながら相談者に寄り添った対応に努めています。
- 来所相談・電話相談：22-4812  
(月曜日～金曜日：午前8時50分～午後5時20分)
- 教育相談メール：  
kyoiku-sodan@city.otaru.lg.jp
- スクールソーシャルワーカー(SSW)が学校、家庭、関係機関と連携・協力し、子供の置かれている環境の改善等に向けた活動を行います。

**教育研究所職員**

- 所 長 鈴木 健 介 (教育部長)
- 副所長 谷 口 剛 (学校教育支援室長)
- 主 幹 菊 野 幸 治 (学校教育支援室指導G主幹)
- 主 査 清 水 馨 (学校教育支援室指導G主査)
- 主 査 松 本 義 雄 (教育総務課総務係長)
- 所 員 藤 原 博 貴 (教育総務課総務係)
- 所 員 高 橋 ありさ (教育総務課総務係)
- 所 員 井 村 文 俊
- 所 員 藤 崎 淳
- 所 員 岡 田 雅 彦 (スクールソーシャルワーカー)
- ※スクールソーシャルワーカー(SSW)の勤務は、月・水・金 11:15～17:00、火・木 9:15～15:00 です。

## 令和5年度 調査研究活動事業 研究校・研究団体を紹介します

小樽市教育研究所では、小樽の子どもたちに「小樽市教育推進計画」に示されている「未来を創る力（『確かな学力』等）」「豊かな心」「健やかな体」などをはぐくみ、小樽市の教育を向上・発展させることを目的に、学校や研究団体に対して研究活動の奨励・推進に取り組んでいます。

今年度は、13校・6研究団体から申請があり、下記のように決定しました。今後、研究所や学校・研究団体と協力・連携しながら、教育活動の調査研究を行い、その成果を各学校・研究団体に環流していく予定です。

学校名	指定	学校の研究主題
稲穂小学校	推進校	学級経営を基盤として、一人一人が主体的に学びに向かう授業づくり～算数科における「考えて伝え合う授業」を通して～
花園小学校	推進校	自ら意欲的に学び、互いのよさを認め合う子どもの育成～算数科における「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり～
山の手小学校	推進校	主体的に学びをつなぐ子どもの育成～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
潮見台小学校	推進校	自ら学び、豊かに伝え合う子どもの育成～「できた」「分かった」「楽しい」を味わえる「算数科」の指導の工夫を通して～
望洋台小学校	推進校	生き生きと協働的に学び合う子どもの育成～算数科における子どもが主体となった学習活動の充実を目指して～
桂岡小学校	推進校	健康の保持推進を目指し、自らが生き生きと学ぶ子どもの育成～体育・食育における指導方法の工夫を通して～
銭函小学校	推進校	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成～筋道を立てて考え、表現する力を育てる指導の工夫～
青園中学校	推進校	自己肯定感を高め、生きる力を育む学習指導の研究～「主体的・対話的で深い学び」に向かう、学びと評価の一体化の工夫～
高島小学校	交流校	主体的に学び、伝え合う子どもの育成～「わかる楽しさ」や「できる喜び」を実感させる指導の工夫～
奥沢小学校	交流校	自らが生き生きと学ぶ子どもの育成～学ぶ喜びのある授業の創造～
桜小学校	交流校	ともに学び、深く考える子どもの育成～個別最適な学び・協働的な学びを通して～
北陵中学校	交流校	「学びに向かう力」を育む授業改善～対話的な活動の工夫を通して～
西陵中学校	交流校	主体的に学び、表現できる生徒の育成～ICT機器の活用を通して～

研究団体名	指定	研究団体の研究主題
小樽市算数数学教育会	推進団体	未来社会を切り拓く力を育む算数・数学教育の探究～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～
小樽市社会科教育研究会	交流団体	郷土に夢と誇りをもち 未来を拓く子どもの育成 地域とのかかわりの中で、自らの課題を追究し主体的・対話的に学びつづける子どもを求めて
小樽市複式教育研究会	交流団体	主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子どもの育成 ～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人の未来に生きる力を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～
後志道徳教育研究会小樽支部	交流団体	豊かな関わりを通して、よりよく生きる児童・生徒の育成～考え・議論する道徳科の授業を通して～
小樽市学校体育研究会	交流団体	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育活動の創造
小樽英語教育研究会	交流団体	グローバル化に対応した英語教育の実践

※ 研究推進校・研究推進団体は、教育研究所の研究課題の解明に積極的に協力・連携し、研究活動を行っていただく学校・研究団体として指定しております。



## <令和5年度 初任者紹介> 「よろしくお願ひします！」

今年度新たに採用になりました12名の教職員の皆さんを紹介します。



### 小樽市立朝里小学校 教諭 林 風 歌

今年度より新採用として小樽市立朝里小学校に着任しました、林風歌と申します。私が教員を目指したのは、担任の先生が私自身も知らなかったよさを見つけてくれて、自信をもつことができたからです。私も一人一人のよさを見つけることができる先生になれるよう精進してまいります。先輩の先生方から、子どもとの関わり方をたくさん学び、指導して頂きながら、目標とする先生になれるよう努力して参ります。よろしくお願ひいたします。



### 小樽市立稲穂小学校 教諭 高 橋 ゆ ら

4月から小樽市立稲穂小学校に新採用として着任しました、高橋ゆらと申します。2年生の担任として毎日新しい学びと反省を繰り返し、早くも2か月が経ちました。小樽で先生として仕事ができる喜びと様々な不安はありますが、素晴らしい先生方や生徒に支えられて充実した毎日を送ることができています。誰一人取り残すことのない、生徒に寄り添った温かい学級を目指して、これからも学び続け、子ども達と一緒に成長していきたいと思っています。これからよろしくお願ひいたします。



### 小樽市立潮見台中学校 教諭 瀬 川 李

この度、新規採用で小樽市立潮見台中学校に赴任しました瀬川李と申します。あっという間に2か月が過ぎ、右も左もわからず、先生方に迷惑をおかけしている毎日ですが、温かく支えて下さる職場環境の中で、一生懸命努めさせていただいています。授業も手探りではありますが、音楽の楽しさ、合唱の素晴らしさを子ども達に伝えられるよう、自分も学び続ける姿勢を忘れることなく、楽しい音楽の授業づくりをしていきたいと思ひます。



### 小樽市立山の手小学校 教諭 桜 井 か お り

今年から、小樽市立山の手小学校に着任しました、桜井かおりと申します。2年生の担任をしております。力不足で分からないことばかりですが、先生方に支えていただきながら、この2か月間を乗り越えることができました。子どもたちがよりよい学校生活を送れるよう、先生や保護者、地域の方々とのコミュニケーションを大切にし、信頼される教師になれるよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



### 小樽市立松ヶ枝中学校 養護教諭 羽 生 万 里 子

新しく4月より松ヶ枝中学校養護教諭として勤務しております羽生万里子です。4月からの2か月が過ぎ、少しずつ学校にも慣れてきました。生徒対応では悩みながらの毎日ですが、周りの教職員方や先輩養護教諭に支えていただき、日々過ごしています。心も身体も大きく成長する中学生が自分の健康に興味を持ち、心身の健康に向け、管理や調整ができるよう保健室からサポートしていけるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



### 小樽市立菁園中学校 教諭 佐 野 肇 彦

今年度より新採用として小樽市立菁園中学校に着任しました。2年生の担任として、初めて経験することばかりで戸惑うことも多いですが、先生方にたくさんのご指導をいただき、充実した毎日を送っています。また、担当する美術の授業では、楽しく学べることを目標に教材研究に努めています。学ぶ姿勢を忘れず、生徒たちと真摯に向き合い信頼関係を築きながら、お互いに成長していけるよう努力して参ります。これからよろしくお願ひ致します。



**小樽市立菁園中学校 養護教諭 佐藤 穂乃花**

この度、小樽市立菁園中学校で養護教諭として着任しました、佐藤穂乃花と申します。菁園中学校では2年間、期限付教諭として勤務させていただき、本校での勤務は3年目となります。環境は変わりませんが、保健室にくる生徒の来室理由は様々で、まだまだ緊張の毎日です。多様化する子ども達の健康課題と向き合いながら、これまで出会った先生方から学んだことを生かし、子ども達が笑顔で学校生活を送ることができるよう、養護教諭として精一杯努力いたします。



**小樽市立銭函小学校 養護教諭 小川 ほのか**

今年度より新採用として小樽市立銭函小学校に着任いたしました、小川ほのかと申します。地元の埼玉県から離れ、新しい土地での新しい生活に、不安や戸惑いを感じることも多くありますが、憧れであった養護教諭として子どもたちと関わっていることに喜びを感じています。未熟さを痛感している毎日ですが、失敗から学び、周りの先生方にご指導いただきながら、安心・信頼される養護教諭を目指して努力してまいります。よろしくお願いいたします。



**小樽市立長橋小学校 教諭 麻生 太亮**

この度、小樽市立長橋小学校に赴任しました麻生太亮と申します。これまで、わからないことが多く困惑しながらも、周りの先生方や子どもたちに支えていただいたおかげで楽しくあっという間に2か月間が過ぎました。これからも子どもたちに教えるだけでなく、子どもたちから教わるという気持ちを忘れずに日々精進していきたいと思っております。周りの先生方に追いつけるように精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



**小樽市立向陽中学校 教諭 杉山 拓巳**

期限付の経験を経て、今年度から新採用として小樽市立向陽中学校に着任となりました。これまで校長先生をはじめ多くの先生方に助けられながら学校生活を送り、学びある充実した日々を過ごしてきました。新採用という新たな節目となりますが、これまで以上に研鑽を積み教員として成長できるように励んでいきたいです。また、関わるすべての人とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



**小樽市立潮見台小学校 事務職員 築田 凧咲**

この度、潮見台小学校の事務職員となりました築田凧咲です。高校を卒業し社会人として働くにあたり、環境や立場等すべてが変わりました。何もかも新しい体験のため日々学ぶことばかりですが、その分一つ一つの業務や目標をやり遂げられるたびに、大きな達成感を得られております。右も左も分からず、まだまだご迷惑ばかりお掛けしてしまうと思っておりますが、少しでも早く仕事に慣れ皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



**小樽市立奥沢小学校 教諭 岸部 雅隆**

今年度から新採用として小樽市立奥沢小学校に着任しました、岸部雅隆と申します。生まれ育った小樽市の教育に携わることができ、とても嬉しく思います。5年生の担任として2か月が経ちました。毎日が初めての経験ばかりで戸惑いや不安も多いですが、先生方や子どもたちに支えられながら、充実した毎日を送っています。子どもたちが充実して笑顔の絶えない学級を目指し、子どもたちとともに一歩ずつ精進してまいります。よろしくお願いいたします。

初任者の方々は、教職員としての喜びと使命感を胸に、日々奮闘していることと思っております。初任者には先輩の支えや教えが大きな力になりますので、先輩の方々のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

# 教育研究所情報①

## 「こんな本がないかなあ」と思ったら教育研究所へGO



当研究所には、教育に係る蔵書が数多くそろっており、今日的な教育の流れに即した新刊も随時購入しております。これまでも、多くの教職員の方々に借りていただいておりますが、それぞれの課題や関心に応じたものがきっとあると思いますのでお気軽にお立ち寄りください。

また、小樽市内の各学校の研究紀要・集録や指導案、道内・外の教育研究所の研究紀要等を保存し閲覧・貸し出しを行っておりますので是非ご活用ください。



### <貸出しの流れについて>

#### ◎ 教育研究所への直接来所による貸出し

- ◆ 教育研究所にて、図書を自由にご覧いただき、希望の図書が見つかりましたら所員にお知らせください。
- ◆ 貸出し簿に必要事項を記入していただきます。  
\* 貸出し冊数に制限はありません。
- ◆ 返却期限までに教育研究所にご返却ください。  
\* 貸出し期間は2週間、新規購入図書は1週間です。延長を希望される場合は連絡が必要です。



#### ◎ 新規購入図書案内(チラシ等)による貸出し

- ◆ 教育研究所では年に数回新規購入図書についてチラシ等により各学校に案内をしております。
- ◆ ご希望の図書が見つかりましたら、電話またはメールにて教育研究所に①~③の事柄をご連絡ください。  
①学校名と氏名 ②図書名 ③希望貸出し期間
- ◆ 図書をメール便にて送付します。
- ◆ 返却期日までに教育研究所にお戻しください。  
(返却は3冊程度であればメール便でも可能)

### <新規購入のお勧め書籍>

【いちばんやさしい Google for Educationの教本】

Google for Educationをいち早く使い始めた現役公立校の教諭が、「いちばんやさしい」実践例を紹介していく書籍です。



【子どもの見方が変わる！「見取り」の技術】

「見取り」がうまくできると、授業がスムーズに進むようになる！「見取り」の具体的なやり方を、様々な授業例とともに紹介しています。



【子どもに伝えたいお話100】

季節感あるものや学級がつかずきそうな時期に伝えるべきものまで、子どもに伝えたいお話を100話紹介しています。子どもに語る際の「発問」や「注意事項」なども丁寧に解説しています。



<お申し込み・お問い合わせ→小樽市教育研究所>

Tel 0134-32-4111 (内線 7222)

E-mail [kyoiku-kenkyusyo@city.otaru.lg.jp](mailto:kyoiku-kenkyusyo@city.otaru.lg.jp)



## 教育研究所情報②

### 生徒指導の組織的な対応について

＜スクールソーシャルワーカー(SSW)から＞  
学校での生徒指導の組織的な体制づくり  
の参考になればと思い掲載しました。

### 『問題の起こりにくい学校』と『問題の起こりやすい学校』では、何が違うのか？

#### 【問題の起こりにくい学校での5+α(サイクル)】

1. 情報の質と流れが良好で課題が共有されている。
  - ・情報の緊急度と重要度を整理する。
2. 指導方針が現状と課題を踏まえている。
  - ・根拠を踏まえて現状を目に見えるようにする。  
(資料の視覚的な工夫。)
3. 取組における具体的な行動が示されている。
  - ・取組基準の明確化が教職員の共通実践とともに子ども・保護者の公平感に結びつく。
  - ・決定した指導・対応方針を短期・中期・長期に分ける。
4. 一部の教職員のみ負担が偏っていない。
  - ・外部専門家や関係機関等との連携の必要性を全教職員が理解する。
5. 随時、取組を見直し、軌道修正されている。
  - ・定期的な意見交換(短時間)が生徒指導に対する意識変容に結びつく。
- α. 教職員間での会話が深い。
  - ・気軽な情報交流が、学校がチームとして機能することに結びつく。

SSWの勤務は、  
月・水・金曜日 11:15~17:00、  
火・木曜日 9:15~15:00です。  
連絡は、教育研究所(岡田)まで



＜「令和3年度いじめ問題理解基幹研修」藤平 敦『いじめの未然防止に向けたマネジメントの推進(2)』一部抜粋＞

### 令和5年度 小樽市教育研究所第13次研究(第2年次)について

＜研究主題＞【社会に生きる資質・能力を育む学習指導の在り方(2/3年次)】  
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくり～

第13次研究では、「子どもの成長やつまずきなどを理解し細かく指導・支援することや、子どもが自らの学習の状況を把握し主体的に学習を調整することができるよう促していくなどの『個別最適な学び』と、他者と異なる考えが組み合わさり、よりよい学びを生み出す『協働的な学び』を意識した授業づくりを工夫することで、『主体的・対話的で深い学び』を実現し、求められる資質・能力を育てていくことができるであろう」という仮説のもと研究を進めています。

研究内容は次のとおりとなっており、各学校・団体の研究と通じるところが多くあると思いますので、一緒に取り組んでいければと考えています。

#### (1) 研究内容1【個別最適な学びの工夫】

視点1：子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導方法の工夫

視点2：子ども一人一人が自らの学びを発展させたり、探究したりする学習を位置付けた単元計画の工夫

#### (2) 研究内容2【協働的な学びの工夫】

視点1：子どもが異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出すことができる指導方法の工夫